

北見工業大学

学報

平成16年 5 月 事務局総務企画課発行 第203号

国立大学法人北見工業大学のスタート



(関連記事 3 ページに掲載)

Kitami Institute of Technology

目 次

学長挨拶	国立大学法人北見工業大学のスタートにあたって	3
法人移行	国立大学法人北見工業大学がスタート	4
	法人運営組織図	4
	役員等一覧	5
	経営協議会委員	5
	大学組織機構図	6
平成16年度 入 学 式	平成16年度入学式挙行	7
	学長告辞	8
入 試	平成17年度編入学学生募集要項の公表	10
研究助成	平成16年度科学研究費補助金交付内定	11
	平成16年度研究助成金交付決定	13
	平成16年度民間等との共同研究の受入状況	14
	平成15年度奨学寄附金の受入状況	16
	平成16年度奨学寄附金の受入状況	16
人 事	人事異動	17
	役員、副学長及び各センター等の長の紹介	22
	新任者紹介	27
	海外渡航	31
	教員の任期制について	32
	各種委員会委員等	33
受 賞	坂本 弘志教授、「北海道経済産業局長賞」を受賞	36
諸 報	札幌、東京にサテライト・オフィスを設置	36
	“土木開発工学科教育プログラム” J A B E E から認定	37
	父母懇談会（春季）を開催	38
	小林 正義元教授に名誉教授称号授与	38
	外国人研究者の受入れ	39
規程制定		39
日 誌	4月・5月	44

今号から、住所変更等記事の掲載を取りやめること
といたしました。悪しからずご了承願います。

= 学長挨拶 =

国立大学法人北見工業大学のスタートにあたって

学長 常 本 秀 幸

平成16年4月1日、本学は国立大学法人北見工業大学として新たな歴史のスタートを切りました。平成13年6月にいわゆる「遠山プラン」が示されて以来、大学改革の方針が予想以上の速さで審議され、非公務員型の国立大学法人法が平成15年7月に公布されました。この間、道内6単科大学間の再編・統合などの議論もありましたが、法人化に伴う諸課題の検討が優先することから、統合の議論を進めることは当面困難であるとして、個々の大学で法人化に向けた準備を始めてきました。本学では、平成14年4月に大学改革特別委員会を設置し、ここで法人化後の本学の構想について集中審議を行い、中期目標、中期計画の策定に取り掛かりました。特別委員会では平成16年度以降の6年間で何をすべきか、時期と数値目標等で意見が分かれることもしばしばあり、また、文部科学省の方針が明らかになるにつれ、2度、3度と修正を加えたものが、平成15年6月の教授会で承認され、平成15年9月に文部科学省へ素案として提出しております。その後、国立大学法人評価委員会からの意見もあって、本年4月に、中期計画をもう一度修正し、文部科学省の認可を受けましたが、素案によって本学の法人後の進むべき方向は読み取れるようになったと思っています。

法人化後の大学運営が成功するかどうかは、教職員の意識改革にかかっています。スムーズな移行のみを重視すると、大きな変化がない方が良かったのですが、法人を機会に改革する姿勢を明確にすることが必要と考え、事務組織の見直し、技術部職員の派遣方式、学科事務室の統合などの提案をいたしました。これらは、大学改革特別委員会の建設的な意見の支えもあって、昨年11月及び12月の教授会で承認され、この4月からスタートしております。最も審議が長引いたのは教員の任期制でした。任期あるい



は再任の条件、審査方法などへの意見も多くありましたが、疑問・要望に応えるべく学科等との懇談会などを行った結果、「今後の教育の質の向上、研究の活性化に任期制は必要である」との主旨が理解され、平成16年3月の教授会で任期制が承認されております。当初は新規採用者と昇任者だけに適用するつもりでいましたが、大学改革特別委員会において現職者にも同意の下、適用すべきとの意見をいただき、3月末までの同意書の提出をお願いしたところであります。その結果、当初の予想をはるかに超える70人以上の方が任期制の対象となっております。まさに、意識改革のシンボリック結果だと思っています。

一方、法人化に伴う規程の制定などの事務作業が膨大なことから、平成15年度から事務組織に移行準備室を設け就業規則等の作成に入りました。200件に及ぶ規程作成・改正は予想以上の作業量になり、総務課を中心とした事務職員の方々にはかなりの負担をかけましたが、期日までの作成に努力いただいたことに感謝しております。また、労働者の過半数代表に選出されました小林道明教授と、それをサポートしてくださった職場代表等の方々とは有意義な意見交換を続け、1ヶ月間という短期間にもかかわらず4月1日に労使協定を結ぶことができました。さらに、教職員組合とも大学の発展を基調

国立大学法人北見工業大学にとって記念すべき日になりました。教職員の皆様には、この日が本学の「さらに飛躍するための日」としてとらえていただき、さらなる意識改革に努めていただければ幸いです。私も残された期間、気を引き締めて舵取りをさせていただきますので、より一層の御支援と御協力をお願いいたします。

国立大学法人北見工業大学がスタート

において開催されました。

午後からは、経営協議会の学外委員に対する辞令交付の後、第1回経営協議会、第2回、第3回役員会、第1回教授会が開催され、法人化後の諸規程や中期目標・中期計画等についての審議が行われました。

また、午後6時から、北見東急インにおいて懇談会が開催され、多忙だった法人化初日の慰労と今後の大学運営等について、懇談を行いました。

```
graph TD
    A[学長選考会議] -- "(代表者)" --> B[学長]
    A -- "(学長を選考)" --> B
    A -- "(代表者)" --> C[役員会 4名]
    C -- "(重要事項を議決)" --> B
    C -- "(重要事項を議決)" --> D[経営協議会 12名]
    C -- "(重要事項を議決)" --> E[教育研究評議会 24名]
    C -- "(重要事項を議決)" --> F[監事 業務監査担当]
    C -- "(重要事項を議決)" --> G[監事 会計監査担当]
```

国立大学法人北見工業大学

(代表者) → 学長選考会議 ← (代表者)

↓ (学長を選考)

役員会 (4名)

学長

理事・副学長 (総務・研究担当)

理事・副学長 (教務・学生担当)

理事 (非常勤) (産学連携担当)

(重要事項を議決)

経営協議会 (12名)

学長

理事 (常勤)

副学長及び学内者

学外有識者

(主に経営面を審議)

監事 (業務監査担当)

監事 (会計監査担当)

教育研究評議会 (24名)

学長

理事

副学長及び学内者

(主に教学面を審議)

北見工業大学

国立大学法人北見工業大学役員等一覧

役 職 名	氏 名	備 考
学長	常 本 秀 幸	前 北見工業大学学長
理事・副学長(総務・研究担当)	鮎 田 耕 一	前 北見工業大学副学長(総務・研究担当)
理事・副学長(教務・学生担当)	高 橋 信 夫	前 北見工業大学副学長(教務・学生担当)
理事(非常勤)産学連携担当)	白 井 達 郎	株式会社 産学共同システム研究所 代表取締役
監事(非常勤)業務監査担当)	土 岐 祥 介	北海道工業大学 教授
監事(非常勤)会計監査担当)	岩 城 重 雄	石狩開発株式会社 常勤監査役
副学長(広報・情報担当)	大 島 俊 之	北見工業大学教授・附属図書館長
副学長(評価担当)	佐々木 克 孝	北見工業大学教授

理事の選任理由

鮎田耕一理事(総務・研究担当)

： 本学での総務・研究担当の副学長をはじめとする豊かな経験と実績があり、本学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することが期待できる。

高橋信夫理事(教務・学生担当)

： 本学での教務・学生担当の副学長をはじめとする豊かな経験と実績があり、本学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することが期待できる。

白井達郎理事(産学連携担当)

： 株式会社産学共同システム研究所代表取締役を務めており、また、これまでも本学地域共同研究センター客員教授を勤めるなど、産学官連携に豊かな経験と識見があり、本学を理解し、本学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することが期待できる。

国立大学法人北見工業大学経営協議会委員

氏 名	現 在 の 役 職
常 本 秀 幸	国立大学法人北見工業大学学長
鮎 田 耕 一	国立大学法人北見工業大学理事
高 橋 信 夫	国立大学法人北見工業大学理事
大 島 俊 之	国立大学法人北見工業大学副学長
佐々木 克 孝	国立大学法人北見工業大学副学長
柴 崎 明 博	国立大学法人北見工業大学事務局長
丹 保 憲 仁	放送大学長(元 北海道大学総長)
梶 谷 誠	信州大学監事(前 電気通信大学学長)
大 味 一 夫	独立行政法人 科学技術振興機構研究成果活用プラザ北海道 館長
熊 谷 秀 男	東京電波株式会社 代表取締役社長
越 膳 良 臣	株式会社北辰工業 取締役会長
中 神 銑三郎	北見商工会議所会頭 中神土木設計事務所 代表取締役

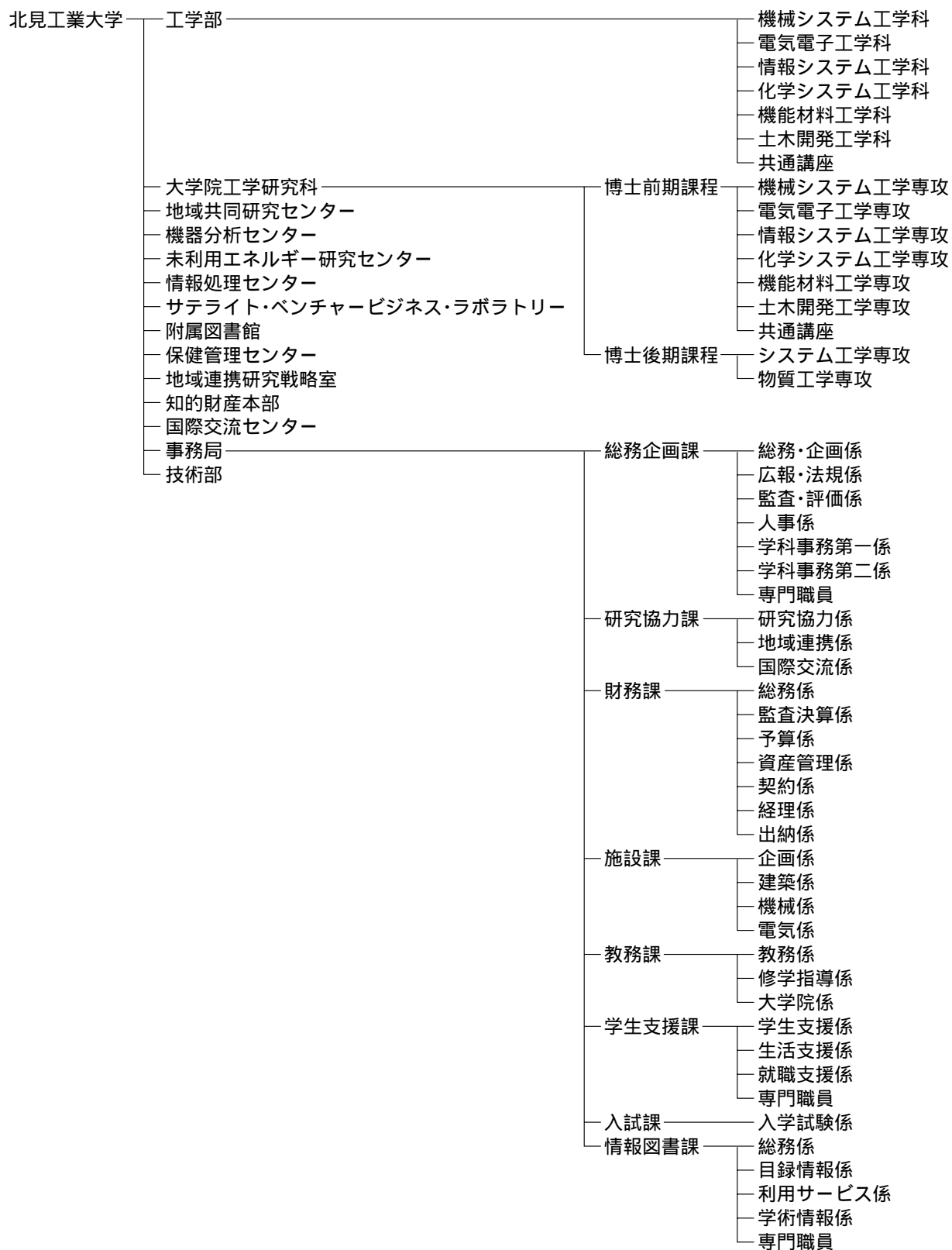
経営協議会学外委員の選任理由

大学行政、産学官連携、企業経営、地域社会等の観点や本学の運営諮問会議での実績等を踏まえ、大学に関し広く高い見識を有する者のうちから選任。

- 大学行政に識見を有する者：丹 保 憲 仁 氏
- 学識経験者：梶 谷 誠 氏
- 産学連携に識見を有する者：大 味 一 夫 氏
- 企業経営に識見を有する者：熊 谷 秀 男 氏
- 同窓生の代表：越 膳 良 臣 氏
- 地域の代表：中 神 銑三郎 氏

教育研究評議会委員については、「各種委員会等」(33頁)参照

大学組織機構図



= 平成16年度入学式 =

平成16年度入学式挙行

(総務企画課)

平成16年度入学式が、4月6日(火)午前10時から
本学講堂で行われました。

学長から、学部455人、学部編入学9人、大学
院博士前期課程115人及び大学院博士後期課程
15人の入学が許可された後、学長告辞、入学生
代表宣誓及び役職員紹介が行われ、式は無事終
了しました。

なお、入学者数は次のとおりです。

学部

学 科 名	入学者数(人)
機 械 シ ス テ ム 工 学 科	8 8
電 気 電 子 工 学 科	8 6
情 報 シ ス テ ム 工 学 科	7 0
化 学 シ ス テ ム 工 学 科	6 0
機 能 材 料 工 学 科	5 8
土 木 開 発 工 学 科	9 3
合 計	4 5 5

学部編入学

学 科 名	入学者数(人)
電 気 電 子 工 学 科	5
情 報 シ ス テ ム 工 学 科	3
土 木 開 発 工 学 科	1
合 計	9

大学院博士前期課程

専 攻 名	入学者数(人)
機 械 シ ス テ ム 工 学 専 攻	3 1
電 気 電 子 工 学 専 攻	1 9
情 報 シ ス テ ム 工 学 専 攻	1 3
化 学 シ ス テ ム 工 学 専 攻	1 5
機 能 材 料 工 学 専 攻	1 9
土 木 開 発 工 学 専 攻	1 8
合 計	1 1 5

大学院博士後期課程

専 攻 名	入学者数(人)
シ ス テ ム 工 学 専 攻	1 0
物 質 工 学 専 攻	5
合 計	1 5



入学生代表 山本 洋輔君(機械システム工学科)による宣誓

= 学長告辞 =

新入生歓迎「共に飛躍を」

学長 常 本 秀 幸

北見工業大学への入学を心より歓迎いたします。皆さんそれぞれ夢と希望を胸に秘め、新たな学生生活を送る今日がそのスタートになります。皆さんの新しいスタートを共に祝いしうとおいでいただきました父母の方には、スクリーンを通してご覧いただいておりますが、後ほどご挨拶させていただきます。また、ご多忙中にも拘わらず、ご臨席いただきました学生後援会会長杉谷様に、この場を借り厚くお礼申し上げます。

学部入学生455人は、これまでの家庭を中心とした生活から、一人で自由に羽ばたける大学生活が始まります。自由度が大きくなった分だけ責任が重くなったことを自覚し、目標をしっかり持って4年間を過ごしてください。編入学生9人は、これまでの基礎学力に磨きをかける2年間のスタートになります。また、大学院博士前期課程に進学した115人は、自分の目指す方向に付加価値を付ける2年間を送ってください。そして、博士後期課程に進学の15人には、研究者としての自覚を新たに、本学の研究力を高めるよう3年間全力を投入してください。

本年学部に入学者の60%近くが本州から来ておりますが、センター試験直前の大雪のニュースに驚きと戸惑いを感じた方も多かったのではないのでしょうか。100年に一度の大雪ですので、皆さんがこの在学中にもう一度経験できる確率は極めて低いと思います。2メートル以上もの山になっていた道路沿いの雪も4月の声と共にほとんど融け、太陽の恵みを強く感じます。本州は桜の季節、雪国は白い大地から土の香りが感じられる季節です。日本の新学期は、心のときめきを自然も盛り上げてくれる季節であり、この時期を新学期と決めた先人に敬意を表したいと思います。

さて、新入生に最初に伝える話題は、本学が国立大学法人という新しい運営体制に移行した



ことです。これまでの日本の大学は、戦後の経済復興を支える人材を送り出し、今日の繁栄を築き上げる上で大きな役割を果たしてきました。この経済成長の成功は、欧米で開発された製品を高性能化、小型化、大量生産したものを輸出する、いわゆるキャッチアップタイプによるものでした。世界のトップになったと言うことは、欧米追従型から新たなシステムに変換する必要があった訳ですが、トップに立った甘えもあって、対応が遅れてたと言えます。例えば、スイスの研究機関の調査結果では、日本の経済力は世界の11番目であり、大学の経済活動への貢献度は49番目とされております。我々が世界のトップクラスと思っている自動車企業9社の内、国内資本だけの会社はトヨタ系とホンダだけです。その他の会社はGM、フォード、ダイムラークライスラー、ルノーなどに経営権を奪われております。産業のグローバル化と言われておりますが、21世紀の日本の産業構造に危険信号が灯っているのも事実です。

「国家100年の計は教育にあり」として、教育改革の話は平成9年頃から始まっていましたが、平成13年の小泉内閣になって急展開しております。すなわち、大学の再編・統合や評価制度を取り入れ、国立大学が世界最高水準の教育研究機関となり、科学技術創造立国日本として世界をリードすることを求めています。その

手段として、本年4月1日に大学を法人化し、個々の大学が自主・自律的に運営できるように改革いたしました。したがって、皆さんが最初の国立大学法人北見工業大学の学生です。法人化でどのような変化があるか問われますが、私は、「教育の質の向上、研究の活性化が期待できます。」と答えており、皆さんは良い時期に入学したと思ってください。

資源のない日本は、科学技術を中心として今後も発展することが必要ですが、一方で、理科離れ、基礎学力の低下が問題になっております。理科離れの原因は色々ありますが、一つには小中学校に理系の先生が少ないことが挙げられます。教員の多くが、教員養成系の大学出身者であり、理系とは言えない方が多いと思います。また、技術者の待遇が苦勞の割には良くないことも原因です。最近になって、青色発光ダイオードに代表されるように、発明者の貢献度が高く評価されるようになってきましたので、技術開発に夢が持てるようになったと思います。本学でも、教員や学生の発明を高く評価するようにしておりますので、在学期間に特許を取るような挑戦も期待しております。基礎学力の向上については、高校が悪い、中学校が悪いと先送りをしないで、大学としても取り組む必要があります。本学は入学後の早い時期に体験学習を企画し、基礎学力の重要性を認識してもらうことから始めています。また、卒業時の学力の質を確保するために、JABEEという技術者の質を審査する機関に認定してもらう段取りを各学科で始めており、土木開発工学科はもうすぐ認定される予定です。

今後は、学生の創造力を育成することが重要になりますので、本年度から「もの創り工房」を開設し、ロボコンなどのイベントに参加するための場所・資金の援助などもできるようにしましたのでぜひ利用してください。教育の質の向上は、先生方がいくら努力しても達成できません。皆さんが主役です。今後は教育評価などが厳しくなりますが、これは、皆さんのためであり、21世紀の日本のためでもあります。

さて、我々先進諸国は、これまでは利便性、

大量消費を美德とする風潮がありました。このようなエネルギー消費の拡大と、一方で発展途上国での人口増加が地球のバランスを崩し始めています。将来の人口予測などがいろいろな機関で行われておりますが、成長の限界を考える必要があります。この説明に良くアメーバーの増殖過程が引用されます。すなわち、小さな容器の中でアメーバーを増殖しますと、2次曲線的に個体数が増大していきます。しかし、一定のところから急激に減少し最後は全て死滅してしまいます。この原因は自己汚染によるものですが、地球という限られた空間で、人口の増大、エネルギーの消費の継続的拡大は自己汚染の可能性を大きくさせています。すでに、BSE、SARS、あるいは鳥インフルエンザといったこれまで聞いたことがなかった病原菌が出現し、一方でCO₂、酸性雨、オゾン層破壊などの環境激変成分が増大しており、自己汚染の前触れかとも思える現象です。

本学も寒冷地をキーワードに、このようなグローバルな環境問題への取り組みを進めております。寒冷地をテーマにした研究は、日本ではローカルな課題として注目を受けませんが、ニューヨークなど世界の先進国の多くの都市が北見地域と同程度の緯度に位置しています。例えば、今話題の燃料電池車などは、寒冷地で使えるようにならなければ実用化できません。まさに、北見から世界に発信できる研究テーマが多くあります。このようなことから、本学は「自然と調和するテクノロジーの発展」を目標に、「人を育て、科学技術を広め、地域に輝き、未来を築く」大学を目指しております。まさに時代に適応した目標を持って、この法人化を飛躍の機会と捉え改革を進めています。新聞で見た方も多いと思いますが、本学の多くの先生が、任期制と言うシステムに移行して、評価を受けながら自己改革を始めております。皆さんも自由度の高い学生時代ですので、「仲間作り、自分作り、未来作り」などに目標を持ち、「飛躍」することを念頭に自己改革に挑戦してください。

皆様の学生生活のスタートに当たり、お祝いと激励を兼ね告辞といたします。

= 入試 =

平成17年度編入学学生募集要項の公表

(入 試 課)

平成17年度編入学学生募集要項が4月に公表されました。概要は以下のとおりです。

選抜の種類	推薦による選抜・学力試験による選抜・社会人特別選抜
学 生 及 び 募 集 人 員	工学部全学科 推薦による選抜 10人 学力試験による選抜及び社会人特別選抜 若干人
出願資格等	推薦による選抜 高等専門学校・理工系の短期大学を平成17年3月卒業見込みの者 (推薦基準) 出身学校長が責任をもって推薦できる者で、次の各号に該当する者 人物、学業ともに優れ、本学での勉学意欲にあふれる者で、原則として学科内の 席次が現員の上位1/2以内の者 席次を定めていない場合は、上記 と同等以上であると出身学校長が認めた者 学力試験による選抜 高等専門学校・短期大学を卒業した者及び平成17年3月卒業見込みの者 学校教育法第82条の10に規定する専修学校の専門課程を修了した者及び平成 17年3月修了見込みの者 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者 社会人特別選抜 入学時において企業等に正規の職員として2年以上在職中で、在職のまま入学す ることができ、所属長からの推薦がある者で、次のいずれかに該当する者 理工系の高等専門学校を卒業した者 理工系の短期大学を卒業した者 大学・学部の理工系学科を卒業した者又は大学・学部の理工系学科に2年以上在 学し、62単位以上を修得し退学した者
出 願 期 間	推薦による選抜・社会人特別選抜 5月31日(月)～6月 3日(木) 学力試験による選抜 6月24日(木)～6月30日(水)
試 験 日	推薦による選抜 書類選抜(面接を課す場合は6月9日) 学力試験による選抜 7月7日(水) 物理・数学・英語・専門・面接) 社会人特別選抜 6月9日(水) 面接)
合 格 発 表	推薦による選抜・社会人特別選抜 6月16日(水) 学力試験による選抜 7月14日(水)

= 研究助成 =

平成16年度科学研究費補助金交付内定

(研究協力課)

○ 基盤研究(A) (2)海外学術調査

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交付内定額	新規	継続
未利用エネルギー研究センター	教 授	庄子 仁	オホーツク海におけるメタンハイドレート の採取および総合解析による産状研究	2,100千円 (平成17年度 2,400千円)		○

別途、間接経費630千円配分

○ 基盤研究(B) (1)一般

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交付内定額	新規	継続
共 通 講 座	教 授	大野 晃	農山村における内発的発展と環境保全	2,900千円 (平成17年度 1,600千円)		○

○ 基盤研究(B) (1)海外学術調査

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交付内定額	新規	継続
土木開発工学科	教 授	高橋 修平	国際極年における東シベリアの氷河分布調 査および雪氷学的観測	4,000千円 (平成17年度 4,700千円) (平成18年度 3,200千円) (平成19年度 1,300千円)	○	

○ 基盤研究(B) (2)一般

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交付内定額	新規	継続
情報システム工学科	助教授	原田 康浩	レーザー放射圧と自己組織化現象を用いる3 次元フォトニック結晶創成法の開発と応用	2,300千円		○
機能材料工学科	教 授	青木 清	反応分離型水素製造要素としての新規水素 透過合金膜の合金設計と組織制御	3,500千円		○
機械システム工学科	教 授	羽二生博之	知床峠の除雪における災害防止のための GPSによるバーチャルビジョンシステムの 開発	8,000千円 (平成17年度 3,300千円)	○	
化学システム工学科	教 授	吉田 孝	針葉樹由来木タールの炭素繊維化における 炭化温度と繊維構造との関係	5,600千円 (平成17年度 7,300千円) (平成18年度 2,400千円)	○	

○ 基盤研究(B) (2)海外学術調査

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交付内定額	新規	継続
共 通 講 座	教 授	照井日出喜	現代ドイツの演劇状況に関する芸術社会学 的研究	1,900千円 (平成17年度 1,900千円) (平成18年度 2,200千円)		○

○ 基盤研究(C) (1)一般

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交付内定額	新規	継続
化学システム工学科	教 授	鈴木 勉	金属との複合化による木質由来炭素の高・多機能化 - メソ細孔を有する高結晶炭素の製造	800千円		○
土木開発工学科	助教授	山下 聡	ベンダーエレメント試験方法の標準化に関する研究	2,100千円 (平成17年度 1,600千円)	○	

○ 基盤研究(C) (2)一般

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交付内定額	新規	継続
情報システム工学科	教 授	鈴木 正清	信号源定位のためのデジタル信号処理	500千円		○
機能材料工学科	教 授	松田 剛	遷移金属酸化物系ナノ多孔体の合成とアルカン異性化反応に対する触媒特性の検討	700千円		○
化学システム工学科	教 授	堀内 淳一	プロテオーム解析に基づくリジン発酵の解析と最適化	500千円		○
情報システム工学科	教 授	藤原 祥隆	双対空間の因果関係に着目した自己組織化・自己適応化型知識ベースシステムの研究	600千円		○
機能材料工学科	助教授	伊藤 英信	ライムケーキの低温固化とシックハウス原因VOC除去機能の評価	300千円		○
土木開発工学科	教 授	前田 寛之	北海道知床半島における新生代火山 - 熱水活動と浅熱水性金銀銅鉛亜鉛鉱化作用との関係	500千円 (平成17年度 500千円) (平成18年度 800千円)		○
機器分析センター	助教授	南 尚嗣	海底堆積中メタンハイドレートの定量方法	2,200千円		○
機械システム工学科	教 授	田牧 純一	ロータリダイヤモンドドレッサの機上修正によるドレッシング性能の安定化	900千円		○
電気電子工学科	教 授	田村 淳二	風力発電機を含む電力系統の過渡安定度および安定化制御に関する研究	1,400千円		○
機能材料工学科	助教授	阿部 良夫	サーファクタントを用いた貴金属スパッタ薄膜の構造制御	1,100千円		○
土木開発工学科	教 授	大島 俊之	橋梁のインテリジェント化とスマートモニタリングの実用化による維持管理技術の開発	1,800千円		○
化学システム工学科	助教授	岡崎 文保	コジェネレーションシステム用新規排ガス浄化触媒の開発	1,400千円 (平成17年度 800千円)	○	
情報システム工学科	教 授	山田 浩嗣	特異点理論とパウルベ方程式 - 初期値空間のLie理論的構成	1,400千円 (平成17年度 800千円) (平成18年度 1,000千円)	○	
土木開発工学科	教 授	鮎田 耕一	寒冷海域にあるコンクリートのスケール発生に及ぼす水分の挙動に関する研究	1,700千円 (平成17年度 900千円)	○	
機械材料工学科	教 授	井上 貞信	環境負荷の少ない溶媒を用いる希土類元素の相互抽出分離	2,600千円 (平成17年度 1,100千円)	○	

○ 萌芽研究

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交付内定額	新規	継続
機械システム工学科	教 授	大橋 鉄也	海氷成長における溶存メタン濃縮過程および排出過程の研究	100千円 (平成17年度 200千円)		○
機能材料工学科	教 授	青木 清	アモルファス合金の結晶化によって組織制御した複相の水素透過Ni-Ti-Nb合金	1,400千円 (平成17年度 1,000千円) (平成18年度 1,000千円)	○	

○ 若手研究(B)

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交付内定額	新規	継続
情報処理センター	助 手	嘉田 勝	実数の集合論とその応用	800千円		○
情報システム工学科	助 手	酒井 考和	インポートランスサンプリングのターボ符号への適用に関する研究	900千円		○
化学システム工学科	助 手	服部 和幸	超分子構造を利用した高強度・高弾性率を有する新規セルロース繊維の開発	800千円		○
情報システム工学科	助教授	渡辺 文彦	リーマン・ヒルベルト問題の観点に立ったパウルヴェ超越函数の解析的研究	600千円		○
情報システム工学科	助 手	原田 建治	アゾベンゼン高分子薄膜を用いたホログラム窓の開発	700千円 (平成17年度 500千円)		○
機械システム工学科	助教授	閻 紀 旺	単結晶フッ化カルシウムの超微細溝切削による高精度フレネルレンズの加工	1,700千円		○
土木開発工学科	助 手	中村 大	岩石の凍上メカニズムの解明及び岩石の凍上判定試験方法の確立	500千円 (平成17年度 500千円)		○
機能材料工学科	助 手	石川 和宏	ミリングによるNiTi基合金のナノ結晶化・非結晶化とガラス遷移域での固化成形性	700千円 (平成17年度 900千円)		○
未利用エネルギー研究センター	助教授	八久保晶弘	ガスハイドレート多孔質体の生成・解離過程と力学特性	600千円		○

(財)アイヌ文化振興・研究推進機構平成16年度助成金交付決定

(研究協力課)

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交付金額
共 通 講 座	教 授	下村五三夫	アイヌ口琴研究書「アイヌ発声口琴習俗の研究」の出版	千円 1,275

平成16年度民間等との共同研究の受入状況

(研究協力課)

所 属	職 名	研究代表者	研 究 題 目	民間機関等名
情報システム工学科	教 授	藤原 祥隆	障害予測管理システム調査研究	(株) エストコスモ
機械システム工学科	助教授	三木 康臣	アモルファス / 多結晶シリコン太陽電池を組み込んだ熱電ハイブリッドソーラーパネルの開発	(株) O M 研 究 所
化学システム工学科	教 授	多田 旭男	大気中二酸化炭素還元固定化システム用メタン触媒分解プロセスの基盤技術開発	鹿 島 建 設 (株) ・ (株) 日 本 製 鋼 所
土木開発工学科	教 授	鮎田 耕一	土ブロックの凍結融解抵抗性に関する研究	水 元 建 設 (株)
土木開発工学科	教 授	鈴木 輝之	低温下における遮水シートの熱融着機能に関する研究	(株) プリヂストン
電気電子工学科	教 授	谷本 洋	超広帯域無線機 L S I のための機能回路ブロックに関する研究	(株) 半 導 体 理 工 学 研 究 セ ン タ ー
土木開発工学科	助教授	川村 彰	車輛の位置情報と車輛運動データを利用した冬期路面状態のオンライン推定に関する研究	(株) ド ー コ ン
情報システム工学科	教 授	藤原 祥隆	ヒヤリング記録からの知識の可視化に関する研究	リ コ ー シ ス テ ム 開 発 (株)
化学システム工学科	教 授	青山 政和	食用担子菌子実体に含まれる血圧上昇抑制成分に関する研究	(株) ハ ク ジ ュ ・ ライフサイエンス
土木開発工学科	教 授	海老江邦雄	寒冷地における下水汚泥の有効利用に関する研究	北 見 市 企 業 局
土木開発工学科	教 授	海老江邦雄	下水汚泥・土壌中の肥効成分の定量に関する研究	斜 里 町
情報システム工学科	教 授	藤原 祥隆	Javaによる高セキュリティ・高機能病院情報システムの設計と実装	(株) ピ ー エ ム エ ル 研 究 所
機械システム工学科	助教授	山田 貴延	消化ガスエネルギーの有効利用に関する検討	月 島 機 械 (株)
化学システム工学科	教 授	堀内 淳一	嫌気性消化汚泥の効率的コンポスト化に関する研究	北 見 市 企 業 局
土木開発工学科	助教授	高橋 清	北見市内のバリアフリーに関する研究	北見土木技術協会
機能材料工学科	教 授	高橋 信夫	バイオガスの有効利用に関する研究	北 見 企 業 局
化学システム工学科	助教授	高橋 行雄	下水汚泥及び放流水から発生する臭気成分の定量に関する研究	北 見 企 業 局
機能材料工学科	教 授	増田 弦	北見市における下水汚泥・放流水中の微量成分の長期モニタリングに関する研究	北 見 企 業 局
機器分析センター	助教授	南 尚嗣	紋別市における下水汚泥・放流水中の有害微量成分の定量に関する長期的研究	紋 別 市

所 属	職 名	研究代表者	研 究 題 目	民間機関等名
土木開発工学科	教 授	海老江邦雄	寒冷地における下水汚泥の有効利用に関する研究	留 辺 薬 町
機能材料工学科	教 授	増田 弦	美幌町における下水汚泥・放流水中の微量成分の長期モニタリングに関する研究	美 幌 町
機能材料工学科	教 授	高橋 信夫	斜里町における環境資料（下水汚泥・放流水）中の微量環境有害成分の定量に関する長期的研究	斜 里 町
化学システム工学科	助教授	高橋 行雄	北見地区衛生施設組合端野処理場から発生する臭気成分の定量に関する研究	北 見 地 区 衛 生 施 設 組 合
化学システム工学科	助教授	高橋 行雄	留辺薬町における下水汚泥・放流水中の微量有機・無機成分の長期モニタリングに関する研究	留 辺 薬 町
土木開発工学科	教 授	大島 俊之	低温下における高減衰ゴム支承材せん断特性と内部発熱に関する研究	留 辺 薬 町
土木開発工学科	助教授	三上 修一	ドーム状骨組構造物の強度設計と解析	山 上 マ テ ッ ク (株)
化学システム工学科	助教授	山田 哲夫	カラマツ活性炭の連続生産に関する研究	訓子府石灰工業(株)
土木開発工学科	教 授	海老江邦雄	寒冷地における下水汚泥の有効利用に関する研究	美 幌 町
土木開発工学科	教 授	鈴木 輝之	粒状凍結防止剤を利用した冬期土工への応用に関する基礎試験	北海道日本油脂(株)
機械システム工学科	教 授	羽二生博之	G P S を利用した自律型除雪ロボットの制御プログラムの制御に関する研究	(株)オホーツク位置 情 報 サ ー ビ ス
化学システム工学科	助教授	伊藤 純一	北見市一般廃棄物処理に関する環境調査並びにごみ質調査共同研究	北 見 市
化学システム工学科	助教授	伊藤 純一	常呂川水系水質調査研究	常 呂 川 水 系 環 境 保 全 対 策 協 議 会
機能材料工学科	助教授	宇都 正幸	水産廃棄物処理における重金属の動態調査	佐 呂 間 町
情報システム工学科	助 手	岡田信一郎	e-ラーニングによる情報化研修システムの開発	北 見 情 報 技 術 (株)
土木開発工学科	教 授	海老江邦雄	寒冷地における水道水の高効率化に関する研究	北 見 市 企 業 局
土木開発工学科	教 授	海老江邦雄	北見市における水道事業マスタープランの研究 - しんせいき水道整備ビジョンの策定 -	北 見 市 企 業 局
化学システム工学科	助教授	伊藤 純一	北見市環境調査研究1 （大気、水質、ダイオキシン類）	北 見 市
化学システム工学科	助教授	伊藤 純一	北見市環境調査研究2 （騒音振動、臭気）	北 見 市
電気電子工学科	助教授	柏 達也	大型計算機を使った車載アンテナ特性に関する研究	(株)本田技術研究所 栃 木 研 究 所
土木開発工学科	教 授	前田 寛之	水環境浄化システムの開発研究	安 全 建 設 (株)

所 属	職 名	研究代表者	研 究 題 目	民間機関等名
機械システム工学科	教 授	二俣 正美	複合溶射線材製造におけるアルミニウムフープ材曲げ加工技術に関する調査研究	財団法人北海道科学技術総合振興センター
機械システム工学科	教 授	二俣 正美	複合溶射線材とその改良に関する調査研究及び評価	財団法人北海道科学技術総合振興センター
情報システム工学科	教 授	藤原 祥隆	携帯電話を受信端末としたＴＶ画面・動画配信による遠隔授業システムの開発	(株)KDDIテクノロジー
機械システム工学科	教 授	羽二生博之	水中リハビリ支援システムの開発	美 幌 町 民 生 部
機械システム工学科	教 授	首藤登志夫	バイオ燃料によるディーゼルエンジンの排出ガス向上の研究	(株)新エィシーイー

平成16年度累計 45件

平成15年度奨学寄附金の受入状況

(財 務 課)

所 属	職 名	研 究 者	寄 附 目 的	寄 附 者	寄附金額 円
化学システム工学科	教 授	吉田 孝	「工学研究」に対する研究助成	(社)北見工業技術センター運営委員会	1,000,000
土木開発工学科	助教授	高橋 清	「工学研究」に対する研究助成	(株)ダイヤコンサルタント北海道支社	1,000,000
電気電子工学科	教 授	谷本 洋	「工学研究」に対する研究助成	谷本 洋	1,000,000
化学システム工学科	助教授	伊藤 純一	「ゴルフ場開発による常呂川水質調査・研究」に対する研究助成	北海道指導漁業協同組合連合会	500,000

平成15年度累計 98件

平成16年度奨学寄附金の受入状況

(研究協力課)

所 属	職 名	研 究 者	寄 附 目 的	寄 附 者	寄附金額 円
化学システム工学科	教 授	青山 政和	機能性食品の開発に対する研究助成	(株)ハクジュ・ライフサイエンス	350,000
機能材料工学科	教 授	高橋 信夫	貴金属触媒の基礎的研究に対する研究助成	田中貴金属工業(株)	500,000
情報システム工学科	教 授	藤原 祥隆	知的情報処理に関する研究に対する研究助成	リコーシステム開発(株)	510,000

所 属	職 名	研 究 者	寄 附 目 的	寄 附 者	寄附金額 ^円
機械システム工学科	教 授	小林 道明	ポリカーボネートシートの表面残留応力の測定に関する基礎的研究に対する研究助成	三菱瓦斯化学(株)	500,000
化学システム工学科	教 授	堀内 淳一	水質浄化システムの開発に対する研究助成	(株)TYK環境創造研究所	600,000
土木開発工学科	助教授	山下 聡	火山灰土の厚密排水条件におけるセン断特性に関する基礎的研究に対する研究助成	(株)中神土木設計事務所	300,000
機械システム工学科	教 授	大橋 鉄也	医用工学研究に対する研究助成	北見医工連携研究会	100,000
情報システム工学科	助教授	吉田 秀樹	医用工学研究に対する研究助成	北見医工連携研究会	100,000
機能材料工学科	教 授	青木 清	貴金属ろう材料の研究助成	田中貴金属工業(株)	500,000
機械システム工学科	助教授	閻 紀 旺	半導体ウェハー加工プロセスにおけるバイト切削によるパンプの平坦化技術に対する研究助成	(株)ディスコ	1,000,000
機械システム工学科	助教授	閻 紀 旺	脆性材料の高精度加工技術の研究に対する研究助成	オリンパス株式会社	1,000,000
土木開発工学科	教 授	高橋 修平	寒冷地工学研究に対する研究助成	陸別町しばれ技術開発研究所	300,000
土木開発工学科	教 授	海老江邦雄	工学研究に対する研究助成	水道機工株式会社	1,000,000
電気電子工学科	教 授	田村 淳二	可変速水車発電機および風力発電機の系統連系時総合解析手法の開発に対する研究助成	北海道電力(株)	1,000,000

平成16年度累計 22件

= 人事 =

人 事 異 動

(総務企画課)

○ 文部科学大臣発令

発令年月日	現 職 名	氏 名	異 動 内 容
16. 4. 1	北見工業大学長	常 本 秀 幸	国立大学法人北見工業大学長 (任期：平成18年3月31日まで)
"	北海道工業大学教授	土 岐 祥 介	国立大学法人北見工業大学監事 (非常勤)(業務監査担当) (任期：平成18年3月31日まで)
"	石狩開発株式会社常勤 監査役	岩 城 重 雄	国立大学法人北見工業大学監事 (非常勤)(会計監査担当) (任期：平成18年3月31日まで)

○大学発令

発令年月日	現 職 名	氏 名	異 動 内 容
16. 4. 1	副学長(総務・研究担当)	鮎 田 耕 一	理事・副学長(総務・研究担当) (任期：平成18年3月31日まで)
"	副学長(教務・学生担当)	高 橋 信 夫	理事・副学長(教務・学生担当) (任期：平成18年3月31日まで)
"	株式会社産学共同システム研究所代表取締役	白 井 達 郎	理事(非常勤)(産学連携担当) (任期：平成18年3月31日まで)
"	附属図書館長	大 島 俊 之	副学長(広報・情報担当)・ 附属図書館長 (任期：平成18年3月31日まで)
"	機能材料工学科教授	佐々木 克 孝	副学長(評価担当) (任期：平成18年3月31日まで)
"	土木開発工学科教授	鈴 木 輝 之	地域共同研究センター長 (任期：平成18年3月31日まで)
"	機能材料工学科教授	青 木 清	機器分析センター長 (任期：平成18年3月31日まで)
"	未利用エネルギー研究センター教授	庄 子 仁	未利用エネルギー研究センター長 (任期：平成18年3月31日まで)
"	情報システム工学科教授	鈴 木 茂 人	情報処理センター長 (任期：平成18年3月31日まで)
"	情報システム工学科教授	藤 原 祥 隆	サテライト・ベンチャー・ビジネス・ ラボラトリー長 (任期：平成18年3月31日まで)
"	保健管理センター教授	横 田 欽 一	保健管理センター所長 (任期：平成18年3月31日まで)
"	機械システム工学科教授	二 俣 正 美	知的財産本部長 (任期：平成18年3月31日まで)
"	国際交流センター教授	山 岸 喬	国際交流センター長 (任期：平成18年3月31日まで)
"	機械システム工学科教授	田 牧 純 一	技術部長 (任期：平成18年3月31日まで)
"	電気電子工学科助教授	平 山 浩 一	電気電子工学科教授
"	九州大学大学院工学研究院助手	宮 森 保 紀	土木開発工学科助教授
"	(新規採用)	土 橋 善 仁	共通講座助教授
"	(新規採用)	寄 高 秀 洋	情報処理センター講師 (情報管理コーディネーター) (任期：平成21年3月31日まで)
"	(新規採用)	荒 谷 陽 子	国際交流センター講師 (国際交流コーディネーター) (任期：平成21年3月31日まで)

発令年月日	現 職 名	氏 名	異 動 内 容
16. 4. 1	情報システム工学科教務職員	曾 根 宏 靖	情報システム工学科助手 (任期：平成21年3月31日まで)
"	化学システム工学科教務職員	服 部 和 幸	化学システム工学科助手 (任期：平成21年3月31日まで)
"	化学システム工学科教務職員	多 田 清 志	化学システム工学科助手 (任期：平成21年3月31日まで)
"	土木開発工学科教務職員	白 川 龍 生	土木開発工学科助手 (任期：平成21年3月31日まで)
"	(新規採用)	村 中 司	電気電子工学科助手
"	(新規採用)	舘 山 一 孝	土木開発工学科助手
"	留学生教育相談室教授	山 岸 喬	国際交流センター教授
"	留学生教育相談室講師	菅 野 享	国際交流センター講師
"	情報システム工学科助手	嘉 田 勝	情報処理センター助手
"	機械システム工学科教務職員	中 西 喜美雄	技術部技術専門職員
"	入学主幹	市 山 準 一	総務企画課長
"	弘前大学学務部入試課長	深 澤 涉	研究協力課長
"	会計課長	下 坂 昌 巳	財務課長
"	小樽商科大学学生課長	大 倉 毅	教務課長
"	学生課長	水 口 建	学生支援課長
"	仙台電波工業高等専門学校学生課長	村 上 力 夫	入試課長
"	附属図書館事務長	遠 藤 正 明	情報図書課長
"	学生課専門員 (学生支援担当)	木 村 有 利	総務企画課課長補佐
"	教務課専門員 (大学院担当)	河 合 隆	研究協力課課長補佐 (国際交流係長兼務)
"	北海道大学経理部経理課収入掛長	佐 藤 孝 行	財務課課長補佐
"	総務課専門員 (企画調整担当)	佐々木 純 二	学生支援課課長補佐
"	総務課総務係長	斉 藤 順	総務企画課総務・企画係長
"	総務課学事法規係長	西 田 政 利	総務企画課広報・法規係長
"	総務課職員係長	高 畑 範 昭	総務企画課監査・評価係長
"	総務課人事係長	船 曳 康 徳	総務企画課人事係長
"	総務課付企画主任	美 村 薫	総務企画課学科事務第一係長
"	総務課付研究協力主任	吉 田 敏 恵	総務企画課学科事務第二係長
"	総務課専門職員 (情報公開担当)	藤 田 美代子	総務企画課専門職員

発令年月日	現 職 名	氏 名	異 動 内 容
16. 4. 1	施設課企画係長	渡 部 孝 弘	研究協力課研究協力係長
"	学生課専門職員 (厚生施設担当)	吉 田 正 敏	研究協力課地域連携係長
"	会計課総務係長	羽 澤 明 文	財務課総務係長
"	会計課専門職員 (法人化調査担当)	齊 藤 敏 浩	財務課監査決算係長
"	会計課司計係長	久 田 貢	財務課予算係長
"	会計課専門職員 (物品管理担当)	齊 藤 由紀子	財務課資産管理係長
"	会計課用度係長	岡 野 賢	財務課契約係長
"	会計課専門職員 (情報処理担当)	長 縄 保 則	財務課経理係長
"	会計課出納係長	松 沼 拓 夫	財務課出納係長
"	会計課専門職員 (契約担当)	木 村 隆 男	施設課企画係長
"	施設課工営係長	小 林 正 巳	施設課建築係長
"	施設課設備第一係長	太 田 政 市	施設課機械係長
"	施設課設備第二係長	菅 野 高 利	施設課電気係長
"	教務課専門職員 (学部担当)	小 野 勝 巳	教務課修学指導係長
"	教務課留学生係長	村 井 伸 夫	教務課大学院係長
"	学生課専門職員 (課外活動担当)	齊 藤 仁 史	学生支援課学生支援係長
"	学生課学生企画係長	田 巻 美江子	学生支援課生活支援係長
"	学生課専門職員 (奨学担当)	美 村 光 俊	学生支援課就職支援係長
"	学生課専門職員 (授業料免除担当)	小 野 恵 子	学生支援課専門職員
"	入学主幹付入学試験係長	坂 田 寿	入試課入学試験係長
"	附属図書館総務係長	渡 部 和 幸	情報図書課総務係長
"	附属図書館整理係長	神 原 弘 子	情報図書課目録情報係長
"	附属図書館運用係長	松 尾 博 朋	情報図書課利用サービス係長
"	附属図書館学術情報係長	平 田 栄 夫	情報図書課学術情報係長
"	総務課専門職員 (共同研究担当)	吉 田 愛 子	情報図書課専門職員
"	総務課総務係主任	山 下 優 子	総務企画課総務・企画係主任
"	総務課職員係主任	川 島 恵 也	総務企画課人事係主任
"	総務課学事法規係主任	森 本 典 宏	研究協力課研究協力係主任
"	附属図書館総務係	栄 浪 晋 也	研究協力課国際交流係主任

発令年月日	現 職 名	氏 名	異 動 内 容
16. 4. 1	会計課総務係主任	小 林 則 子	財務課総務係主任
"	総務課付研究調査主任	伊 藤 孝 子	財務課契約係主任
"	会計課司計係主任	山 本 涉	財務課経理係主任
"	会計課出納係主任	本 庄 哲 朗	財務課出納係主任
"	総務課付調査主任	伊 藤 信 子	学生支援課学生支援係主任
"	施設課工営係主任	谷 口 秀 俊	施設課建築係主任
"	施設課設備第一係主任	岩 田 和 巖	施設課機械係主任
"	入学主幹付入学試験係主任	三 浦 千 春	入試課入学試験係主任
"	附属図書館整理係主任	船 木 敦 子	情報図書館課目録情報係主任
"	附属図書館学術情報係主任	高 橋 定 志	情報図書館課学術情報係主任
"	総務課総務係	長谷川 麻 美	総務企画課総務・企画係(育児休暇中)
"	総務課人事係	菊 池 一 修	総務企画課人事係
"	会計課司計係	八木澤 学	財務課予算係
"	会計課管財係	内 山 彰	財務課資産管理係
"	会計課用度係	福 崎 隼 人	財務課契約係
"	教務課留学生係	小 川 靖 之	教務課修学指導係 (文部科学省研修生)
"	(臨時的採用)	古 澤 彰 彦	教務課修学指導係 (任期：平成16年8月20日まで)
"	学生課学生企画係	三 宮 智 仁	学生支援課学生支援係
"	入学主幹付入学試験係	二 村 肇	入試課入学試験係 (日本学術振興会研修生)
"	(新規採用)	土 井 將 義	入試課入学試験係
"	附属図書館運用係	藤 本 みちえ	情報図書館課利用サービス係
"	会計課総務係車庫主任	小 野 優 一	財務課総務係車庫長
"	会計課管財係守衛主任	新 田 明 栄	財務課資産管理係守衛長
"	学生課営繕手	野 田 高 虎	学生支援課営繕手

○ 転出者

発令年月日	現 職 名	氏 名	異 動 内 容
16. 4. 1	共通講座助教授	小 川 芳 樹	東北大学大学院情報科学研究科助教授
"	総務課長	道 谷 博	北海道教育大学総務部総務課長
"	教務課長	菊 地 壯	東北大学学務部学生支援課長
"	総務課課長補佐	山 崎 敏	北海道大学学術国際部留学生交流課課長補佐

○ 転出者

発令年月日	現 職 名	氏 名	異 動 内 容
16. 4. 1	会計課課長補佐	中 嶋 幸 夫	北海道大学学術国際部研究協力課課長補佐
16. 5. 1	情報処理センター助教授	青 山 茂 義	新潟大学総合情報処理センター助教授

役員、副学長及び各センター等の長の紹介

【役 員】

○ 学長に ^{つねもと} 常本 ^{ひでゆき} 秀幸 氏

学長に常本秀幸氏（前北見工業大学学長）が平成16年4月1日付けで発令になりました。
任期は平成18年3月31日までです。

○ 理事・副学長（総務・研究担当）に ^{あゆ た} 鮎田 ^{こういち} 耕一 氏

理事・副学長（総務・研究担当）に鮎田耕一教授が平成16年4月1日付けで発令になりました。
任期は平成18年3月31日までです。

○ 理事・副学長（教務・学生担当）に ^{たかはし} 高橋 ^{のぶ お} 信夫 氏

理事・副学長（教務・学生担当）に高橋信夫教授が平成16年4月1日付けで発令になりました。
任期は平成18年3月31日までです。

○理事（非常勤）（産学連携担当）に 白井 達郎 氏

理事（非常勤）（産学連携担当）に白井達郎氏が平成16年4月1日付けで発令になりました。

任期は平成18年3月31日までです。



昭21. 7. 26生

- 45. 3 東京電機大学工学部電気通信工学科卒業
- 45. 4 墨水産業株式会社
- 46. 4 兼松エレクトロニクス株式会社
- 48. 4 日報電機工業株式会社取締役営業部長
- 57. 4 兼松オフィス・システム株式会社
- 57. 10 日本オフィス・システム株式会社第一営業本部営業課長
- 58. 10 " " 営業企画課長
- 59. 10 " 札幌事業所長
- 60. 10 " 第二事業本部営業課長
- 62. 10 " " 営業企画課長
- 63. 10 " 第一事業本部営業企画課長
- 平元. 10 " 人事総務部給与厚生課長
- 2. 10 " " 人材採用課長
- 3. 10 " 人事総務室長
- 4. 10 " 人事総務部長
- 6. 10 " 新規事業部長
- 10. 2 産学共同システム研究所総合コンサルタント
- 10. 11 株式会社産学共同システム研究所代表取締役
- 14. 6 テクノ・ヴィ・アイ・ピー株式会社代表取締役（兼務）
- 16. 4 国立大学法人北見工業大学理事（非常勤）（産学連携担当）

○ 監事（非常勤）（業務監査担当）に 土岐 祥介 氏

監事（非常勤）（業務監査担当）に土岐祥介氏が平成16年4月1日付けで発令になりました

任期は平成18年3月31日までです。



- 昭10. 1. 24生
 35. 3 北海道大学大学院工学研究科修士課程修了
 50. 12 工学博士（北海道大学）
 35. 4 運輸省港湾局調査設計室
 37. 11 " 港湾技術研究所
 38. 6 北海道大学工学部助教授
 51. 4 " " 教授
 平 3. 4 " 評議員
 7. 5 " 工学部長
 8. 4 " 大学院工学研究科長（工学部長併任）
 10. 4 北海道工業大学工学部教授
 14. 4 " " 主任教授
 16. 4 国立大学法人北見工業大学監事（非常勤）（業務監査担当）

○ 監事（非常勤）（会計監査担当）に 岩城 重雄 氏

監事（非常勤）（会計監査担当）に岩城重雄氏が平成16年4月1日付けで発令になりました。

任期は平成18年3月31日までです。



- 昭18. 9. 7生
 43. 3 北海道大学経済学部経済学科卒業
 43. 4 北海道東北開発公庫（現日本政策投資銀行）
 55. 4 " 審査部審査課主任調査役
 56. 4 " 秘書室人事課主任調査役
 59. 4 " 秘書室人事企画担当参事役
 60. 4 " 事務部事務管理課長
 62. 4 " 東北支店営業第三課長
 平元. 4 " 営業部支店担当参事役
 3. 4 " 業務調整部総括参事役（出資・特別制度融資担当）
 4. 4 " 北海道支店次長
 7. 4 " 事務部長
 9. 4 " 新潟支店長
 11. 4 (株)札幌副都心開発公社（出向）
 11. 6 (株)札幌副都心開発公社常務取締役
 15. 6 石狩開発株式会社常勤監査役
 16. 4 国立大学法人北見工業大学監事（非常勤）（会計監査担当）

【副学長及び各センター等の長】

- 副学長（広報・情報担当）・附属図書館長に ^{おおしま としゆき}大島 俊之 氏

副学長（広報・情報担当）・附属図書館長に大島俊之教授が平成16年4月1日付けで発令になりました。

任期は平成18年3月31日までです。

- 副学長（評価担当）に ^{さ さ き かつたか}佐々木克孝 氏

副学長（評価担当）に佐々木克孝教授が平成16年4月1日付けで発令になりました。

任期は平成18年3月31日までです。

- 地域共同研究センター長に ^{すず き てるゆき}鈴木 輝之 氏

地域共同研究センター長に鈴木輝之教授が平成16年4月1日付けで発令になりました。

任期は平成18年3月31日までです。

- 機器分析センター長に ^{あお き きよし}青木 清 氏

機器分析センター長に青木 清教授が平成16年4月1日付けで発令になりました。

任期は平成18年3月31日までです。

- 未利用エネルギー研究センター長に ^{しょうじ ひとし}庄子 仁 氏

未利用エネルギー研究センター長に庄子 仁教授が平成16年4月1日付けで発令になりました。

任期は平成18年3月31日までです。

- 情報処理センター長に ^{すず き しげひと}鈴木 茂人 氏

情報処理センター長に鈴木茂人教授が平成16年4月1日付けで発令になりました。

任期は平成18年3月31日までです。

○ サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー長に ^{ふじわら} 藤原 ^{よしとか} 祥隆 氏

サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー長に藤原祥隆教授が平成16年4月1日付けで発令になりました。

任期は平成18年3月31日までです。

○ 保健管理センター所長に ^{よこた} 横田 ^{きんいち} 欽一 氏

保健管理センター所長に横田欽一教授が平成16年4月1日付けで発令になりました。

任期は平成18年3月31日までです。

○ 知的財産本部長に ^{ふたまた} 二俣 ^{まさみ} 正美 氏

知的財産本部長に二俣正美教授が平成16年4月1日付けで発令になりました。

任期は平成18年3月31日までです。



昭15. 9. 3生

- 39. 3 北見工業短期大学機械科卒業
- 57. 2 工学博士（大阪大学）
- 39. 4 日東製器株式会社
- 43. 7 トヨタカローラ道都株式会社
- 44. 5 北見工業大学助手
- 47. 6 " 工学部助手
- 57. 4 " " 講師
- 59. 1 " " 助教授
- 平元. 4 " " 教授
- 8. 4 " 地域共同研究センター長（平12.3まで）
- 16. 4 " 知的財産本部長

○ 国際交流センター長に ^{やまぎし} 山岸 ^{たかし} 喬 氏

国際交流センター長に山岸 喬教授が平成16年4月1日付けで発令になりました。

任期は平成18年3月31日までです。

○ 技術部長に ^{た まき} 田牧 ^{じゅんいち} 純一 氏

技術部長に田牧純一教授が平成16年4月1日付けで発令になりました。

任期は平成18年3月31日までです。

新 任 者 紹 介

○土木開発工学科助教授に ^{みやもり}宮森 ^{やすのり}保紀 氏

昭50. 11. 15生

平15. 3 北海道大学大学院工学研究科博士後期課程修了

15. 3 博士(工学)(北海道大学)

15. 4 九州大学大学院工学研究院建設デザイン部門助手

16. 4 北見工業大学工学部土木開発工学科助教授



○共通講座助教授に ^{とばし}土橋 ^{よしひと}善仁 氏

昭48. 4. 21生

平15. 8 アメリカ合衆国コーネル大学大学院言語学科博士課程修了

15. 8 Ph.D.(コーネル大学)

16. 4 北見工業大学工学部共通講座助教授



○情報処理センター講師(情報管理コーディネーター)に ^{よりたか}寄高 ^{ひでひろ}秀洋 氏

昭45. 12. 9生

平 8. 3 早稲田大学大学院人間科学研究科修士課程修了

14. 3 " " " 博士課程単位修得退学

8. 3 修士(人間科学)(早稲田大学)

9. 4 埼玉県立北高等看護学院及び

坂戸鶴ヶ島医師会立看護専門学校非常勤講師

11. 4 早稲田大学メディアネットワークセンター助手

14. 4 " " 非常勤講師

15. 4 " " " 及び特別研究員

15. 4 " スポーツ科学部非常勤講師

15. 4 日本体育大学及び日本体育大学女子短期大学非常勤講師

15. 10 早稲田大学人間科学部非常勤講師

16. 4 北見工業大学情報処理センター講師(情報管理コーディネーター)



○国際交流センター講師（国際交流コーディネーター）に ^{あらたに}荒谷 ^{ようこ}陽子 氏

昭39. 11. 8生

- 平 2. 3 津田塾大学大学院文学研究科博士課程前期課程修了
- 2. 3 文学修士（津田塾大学）
- 2. 4 北海道旭川東高等学校教諭
- 6. 8 エバンヒルズ大学外国学部非常勤講師
- 9. 9 南インドアナ州立大学付属南インドアナ日本人補習校教諭
- 10. 1 トヨタ・モーター・マニファクチャリング・インドアナ(株)派遣社員
- 16. 4 北見工業大学国際交流センター講師（国際交流コーディネーター）



○電気電子工学科助手に ^{むらなか}村中 ^{つとむ}司 氏

昭46. 12. 18生

- 平14. 3 北海道大学大学院工学研究科博士後期課程修了
- 14. 3 博士（工学）（北海道大学）
- 14. 4 北海道大学量子集積エレクトロニクス研究センター講師
（研究機関研究員）
- 15. 4 " 大学院工学研究科COE研究員
- 16. 4 北見工業大学工学部電気電子工学科助手



○土木開発工学科助手に ^{たてやま}館山 ^{かずたか}一孝 氏

昭47. 2. 2生

- 平13. 3 北見工業大学大学院工学研究科博士後期課程修了
- 13. 3 博士（工学）（北見工業大学）
- 12. 4 (株)オホーツク流水科学研究所研究員
- 14. 4 日本学術振興会特別研究員
- 16. 4 北見工業大学工学部土木開発工学科助手



○研究協力課長に ^{ふかざわ}深澤 ^{わたる}渉 氏

昭25. 9. 24生

- 44. 4 室蘭工業大学土木工学科
- 45. 5 " 会計課
- 63. 11 " 庶務課
- 平 5. 4 " " 企画調査係長
- 7. 4 " 教務課教務係長
- 9. 4 " 会計課司計係長
- 11. 4 " 庶務課課長補佐
- 12. 4 仙台電波工業高等専門学校学生課長
- 14. 4 弘前大学学務部入試課長
- 16. 4 北見工業大学研究協力課長

○教務課長に ^{おおくら}大倉 ^{つよし}毅 氏

昭22. 3. 25生

- 40. 3 防衛庁
- 45. 4 国立大雪青年の家事業課
- 46. 4 " 庶務課
- 53. 10 文部省社会教育局青少年教育課施設係主任
- 54. 4 国立花山少年自然の家庶務課庶務係長
- 58. 4 旭川医科大学業務部医事課収納係長
- 59. 4 " 総務部庶務課文書係長
- 平元. 4 " 教務部学生課厚生係長
- 4. 4 " " " 入学試験係長
- 9. 4 " 総務部庶務課調査係長
- 10. 4 " " " 庶務係長
- 11. 3 " " " 課長補佐
- 11. 4 福島工業高等専門学校学生課長
- 13. 4 小樽商科大学学生課長
- 16. 4 北見工業大学教務課長



○入試課長に ^{むらかみ}村上 ^{りきお}力夫 氏

- 昭31. 6. 26生
 50. 4 北海道教育大学教育学部釧路分校
 平 3. 4 " 経理部経理課
 8. 4 " " 主計課
 10. 4 " 教育学部岩見沢校経理係長
 12. 4 " 経理部契約室契約第二係長
 14. 4 仙台電波工業高等専門学校学生課長
 16. 4 北見工業大学入試課長

○財務課課長補佐に ^{さとう}佐藤 ^{たかゆき}孝行 氏

- 昭28. 11. 15生
 47. 4 小樽市株式会社あまとう
 47. 8 北見工業大学会計課
 49. 4 小樽商科大学会計課
 53. 4 " 短期大学部
 56. 5 " 会計課
 59. 5 " 学生課
 59. 11 北海道大学獣医学部
 61. 4 " 経理部主計課
 平元. 5 " " 経理課
 2. 10 " 庶務部入試課第二入試掛入試調査主任
 6. 4 " 経理部主計課第二予算掛予算管理主任
 8. 4 釧路工業高等専門学校会計課総務係長
 11. 4 小樽商科大学会計課司計係長
 13. 4 北海道大学経理部主計課第一予算掛長
 14. 4 " " " 専門職員（予算担当）
 15. 4 " " 経理課収入掛長
 16. 4 北見工業大学財務課課長補佐

○入試課事務職員に ^{どい}土井 ^{まさよし}将義 氏

- 昭50. 4. 9生
 平12. 3 新潟大学法学部卒業
 12. 4 木本由孝事務所
 13. 2 ジー・イー・エジソン生命保険株式会社
 14. 10 三井観光開発株式会社札幌パークホテル
 15. 9 国家公務員採用 種試験合格（行政）
 16. 4 北見工業大学入試課



海 外 渡 航

○ 外国出張

所 属	職 名	氏 名	渡 航 目 的 及 び 渡 航 先 国	期 間
電気電子工学科	助 手	仲 村 宏 一	電力工学に関する国際会議にて論文発表 (中華人民共和国)	16.4.5 ~ 16.4.8
土木開発工学科	助 教 授	高 橋 清	世界の高速道路に関する研究打合せ (アメリカ合衆国)	16.4.12 ~ 16.4.16
機能材料工学科	助 手	川 村 みどり	金属コーティングと薄膜に関する国際会議にて論文発表 (アメリカ合衆国)	16.4.18 ~ 16.4.24
機能材料工学科	助 手	張 強 斌	環境分析と評価における微量成分に関する共同研究及び資料収集 (中華人民共和国)	16.4.18 ~ 16.5.30
化学システム工学科	教 授	鈴 木 勉	第5回「林産物のバイオサイエンスの新しい展望」国際シンポジウムにて講演 (大韓民国)	16.4.21 ~ 16.4.25
未利用エネルギー研究センター	教 授	庄 子 仁	海洋の鉱物資源国際学会参加 (ロシア連邦)	16.4.24 ~ 16.5.1
土木開発工学科	教 授	高 橋 修 平	マッコール氷河における雪氷観測 (アメリカ合衆国)	16.5.8 ~ 16.6.14
機械システム工学科	教 授	田 牧 純 一	先端研削加工技術会議にて講演 (中華人民共和国)	16.5.29 ~ 16.6.1
機械システム工学科	助 教 授	閻 紀 旺	ヨーロッパ精密工学会第4回国際会議及び第6回年次大会にて研究発表 (イギリス連合王国)	16.5.29 ~ 16.6.5
情報システム工学科	教 授	柴 田 孝 次	IEEE 6th CAS Workshop/Symposiumにて研究発表 (中華人民共和国)	16.5.30 ~ 16.6.2
土木開発工学科	助 手	白 川 龍 生	路面性状に関する国際シンポジウムにて研究発表 (カナダ連邦)	16.6.4 ~ 16.6.13
土木開発工学科	助 教 授	川 村 彰	路面性状に関する国際シンポジウムにて研究発表及び路面管理基準に関する調査 (カナダ連邦・アメリカ合衆国)	16.6.5 ~ 16.6.18
機械システム工学科	教 授	首 藤 登志夫	SAE Fuels & Lubricants Meetingにて論文発表 (フランス共和国)	16.6.7 ~ 16.6.12
土木開発工学科	教 授	海老江 邦 雄	第26回環境問題に関する国際シンポジウムにて講演 (大韓民国)	16.6.7 ~ 16.6.11
化学システム工学科	教 授	多 田 旭 男	第3回磁気電子国際シンポジウム及び第1回技術環境影響国際ワークショップにて論文発表並びに講演 (フランス共和国)	16.6.13 ~ 16.6.21
機械システム工学科	教 授	田 牧 純 一	先端砥粒加工技術第7回国際シンポジウム参加 (トルコ共和国)	16.6.14 ~ 16.6.21

所 属	職 名	氏 名	渡 航 目 的 及 び 渡 航 先 国	期 間
機械システム工学科	教 授	大 橋 鉄 也	不均質材料の力学に関する国際会議にて講演および材料強度のマルチスケール解析手法に関する研究打合せ (中華人民共和国)	16.6.18 ~ 16.6.28
機器分析センター	助 教 授	南 尚 嗣	第11回原子分光法による固体試料直接分析に関する国際会議にて研究発表 (ハンガリー共和国)	16.6.25 ~ 16.7.2

教員の任期制について

(総務企画課)

平成16年4月1日から、教員の任期制に伴い、採用、昇任又は配置換となりました教員について、お知らせいたします。

学科等名	職名	教授(36人)	助教授(23人)	講師(2人)	助手(15人)
機械システム工学科		大橋 鉄也 尾崎 義治 小林 道明 坂本 弘志 田牧 純一 羽二生博之 富士 明良 二俣 正美	菅原 幸夫 松村 昌典 閻 紀旺		宮越 勝美
電気電子工学科		谷藤 忠敏 田村 淳二 細矢 良雄 山城 迪	柏 達也 菅原 宣義 村田 年昭		
情報システム工学科		鈴木 茂人 藤原 祥隆	原田 康浩		酒井 考和 曾根 宏靖 原田 建治
化学システム工学科		青山 政和 鈴木 勉 多田 旭男 福井 洋之 星 座 堀内 淳一 吉田 孝	岡崎 文保		齋藤 伸吾 多田 清志 服部 和幸 船木 稔
機能材料工学科		青木 清 佐々木克孝 松田 剛	阿部 良夫 伊藤 英信 射水 雄三 宇都 正幸 渡邊 眞次		張 強斌 村田 美樹
土木開発工学科		海老江邦雄 大島 俊之 佐渡 公明 鈴木 輝之 高橋 修平 前田 寛之	亀田 貴雄 川村 彰 後藤 隆司 三上 修一 宮森 保紀 山下 聡		白川 龍生 舘山 一孝 中尾 隆志 中村 大 鰻目 淑範
共 通 講 座		鈴木 一央 照井日出喜 平野 温美	柳 等		
各 セ ン タ ー 等		齋藤 俊彦 庄子 仁 山岸 喬	有田 敏彦 八久保晶弘 南 尚嗣	荒谷 陽子 寄高 秀洋	

各 種 委 員 会 委 員 等

	役 員 会	経 営 協 議 会	教 育 研 究 評 議 会	企 画 運 営 会 議
任 期	16.4.1~18.3.31	16.4.1~18.3.31	16.4.1~18.3.31	16.4.1~18.3.31
議 長 委 員	学 長 常 勤 理 事 2 人 非 常 勤 理 事	学 長 常 勤 理 事 2 人 副学長(広報・情報担当) 副 学 長(評価担当) 事 務 局 長 学 外 者 6 人	学 長 常 勤 理 事 2 人 副学長(広報・情報担当) 副 学 長(評価担当) 機 械 シ ス テ ム 工 学 科 長 電 気 電 子 工 学 科 長 情 報 シ ス テ ム 工 学 科 長 化 学 シ ス テ ム 工 学 科 長 機 能 材 料 工 学 科 長 土 木 開 発 工 学 科 長 共 通 講 座 主 任 地 域 共 同 研 究 セ ン タ ー 長 機 器 分 析 セ ン タ ー 長 情 報 処 理 セ ン タ ー 長 技 術 部 長 事 務 局 長 機 械 シ ス テ ム 工 学 科 富 士 明 良 電 気 電 子 工 学 科 山 城 迪 情 報 シ ス テ ム 工 学 科 河 野 正 晴 化 学 シ ス テ ム 工 学 科 鈴 木 勉 機 能 材 料 工 学 科 増 田 弦 土 木 開 発 工 学 科 森 訓 保 共 通 講 座 金 倉 忠 之	学 長 常 勤 理 事 2 人 副学長(広報・情報担当) 副 学 長(評 価 担 当) 事 務 局 長

	学 科 長 ・ 講 座 主 任	専 攻 主 任	広 報 委 員 会	国 際 交 流 委 員 会	施 設 環 境 委 員 会
任 期	16.4.1~18.3.31	16.4.1~18.3.31	16.4.1~18.3.31	16.4.1~18.3.31	16.4.1~18.3.31
委 員 長 委 員	機 械 シ ス テ ム 工 学 科 尾 崎 義 治 電 気 電 子 工 学 科 細 矢 良 雄 情 報 シ ス テ ム 工 学 科 鈴 木 正 清 化 学 シ ス テ ム 工 学 科 吉 田 孝 機 能 材 料 工 学 科 松 田 剛 土 木 開 発 工 学 科 海 老 江 邦 雄 共 通 講 座 照 井 日 出 喜	博 士 前 期 課 程 機 械 シ ス テ ム 工 学 専 攻 尾 崎 義 治 電 気 電 子 工 学 専 攻 細 矢 良 雄 情 報 シ ス テ ム 工 学 専 攻 鈴 木 正 清 化 学 シ ス テ ム 工 学 専 攻 吉 田 孝 機 能 材 料 工 学 専 攻 松 田 剛 土 木 開 発 工 学 専 攻 海 老 江 邦 雄 各 専 攻 共 通 照 井 日 出 喜 博 士 後 期 課 程 シ ス テ ム 工 学 専 攻 尾 崎 義 治 物 質 工 学 専 攻 吉 田 孝 各 専 攻 共 通 照 井 日 出 喜	副学長(広報・情報担当) 機 械 シ ス テ ム 工 学 科 山 田 貴 延 電 気 電 子 工 学 科 田 村 淳 二 情 報 シ ス テ ム 工 学 科 藤 原 祥 隆 化 学 シ ス テ ム 工 学 科 三 浦 宏 一 機 能 材 料 工 学 科 佐 々 木 克 孝 土 木 開 発 工 学 科 山 下 聡 共 通 講 座 鳴 島 史 之 事 務 局 長	副学長(総務・研究担当) 国 際 交 流 セ ン タ ー 長 国 際 交 流 セ ン タ ー 専 任 教 員 機 械 シ ス テ ム 工 学 科 間 紀 旺 電 気 電 子 工 学 科 平 山 浩 一 情 報 シ ス テ ム 工 学 科 柴 田 孝 次 化 学 シ ス テ ム 工 学 科 福 井 洋 之 機 能 材 料 工 学 科 青 木 清 土 木 開 発 工 学 科 高 橋 修 平 共 通 講 座 下 村 五 三 夫 事 務 局 長	副学長(総務・研究担当) 地 域 共 同 研 究 セ ン タ ー 長 機 器 分 析 セ ン タ ー 長 未 利 用 エ ネ ル ギ ー 研 究 セ ン タ ー 長 サ テ ラ イ ト ベ ン チ ャ ー ビ ジ ネ ス ラ ボ ラ ト リ ー 長 機 械 シ ス テ ム 工 学 科 大 橋 鉄 也 電 気 電 子 工 学 科 武 山 眞 弓 情 報 シ ス テ ム 工 学 科 亀 丸 俊 一 化 学 シ ス テ ム 工 学 科 伊 藤 好 二 機 能 材 料 工 学 科 松 田 剛 土 木 開 発 工 学 科 伊 藤 陽 司 共 通 講 座 谷 口 孝 男 事 務 局 長

	教 務 委 員 会	入学者選抜委員会	学 生 委 員 会	附属図書館委員会	地域連携推進委員会
任 期	16.4.1～18.3.31	16.4.1～17.3.31	16.4.1～18.3.31	16.4.1～18.3.31	16.4.1～18.3.31
委員長 委 員	副学長(教務・学生担当) 副 学 長(評価担当) 機械システム工学科 田牧 純一 電気電子工学科 谷本 洋 情報システム工学科 三浦 則明 化学システム工学科 堀内 淳一 機能材料工学科 井上 貞信 土木開発工学科 榎本 浩之 共 通 講 座 山田 健二	副学長(教務・学生担当) 副学長(広報・情報担当) 機械システム工学科 二俣 正美 電気電子工学科 野矢 厚 情報システム工学科 三波 篤郎 化学システム工学科 高橋 行雄 機能材料工学科 増田 弦 土木開発工学科 内島 邦秀 共 通 講 座 芳賀 和敏	副学長(教務・学生担当) 機械システム工学科 首藤登志夫 電気電子工学科 川村 武 情報システム工学科 渡辺 文彦 化学システム工学科 青山 政和 機能材料工学科 伊藤 英信 土木開発工学科 佐渡 公明 共 通 講 座 土橋 善仁 国際交流センター長	附 属 図 書 館 長 機械システム工学科 柴野 純一 電気電子工学科 吉田 公策 情報システム工学科 山田 浩嗣 化学システム工学科 星 雅之 機能材料工学科 阿部 良夫 土木開発工学科 宮森 保紀 共 通 講 座 平野 温美	副学長(総務・研究担当) 副学長(教務・学生担当) 地域共同研究センター長 サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー長 機械システム工学科 坂本 弘志 電気電子工学科 平山 浩一 情報システム工学科 吉田 秀樹 化学システム工学科 多田 旭男 機能材料工学科 宇都 正幸 土木開発工学科 川村 彰 共 通 講 座 鈴木 一央 事 務 局 長

	情報システム運営委員会	安 全 衛 生 委 員 会
任 期	16.4.1～18.3.31	16.4.1～18.3.31
委員長 委 員	副学長(広報・情報担当) 情報処理センター長 情報処理センター専任教員 機械システム工学科 菅原 幸夫 電気電子工学科 谷藤 忠敏 情報システム工学科 後藤文太郎 化学システム工学科 岡崎 文保 機能材料工学科 射水 雄三 土木開発工学科 後藤 隆司 共 通 講 座 柳 等 事 務 局 長	理事・副学長(総務・研究担当) 衛生管理室(総務企画課) 高畑 範昭 " (研究協力課) 渡部 孝弘 産業医(保健管理センター) 横田 欽一 電気電子工学科 菅原 宣義 化学システム工学科 星 雅之 機能材料工学科 渡邊 眞次 " 伊藤 英信 土木開発工学科 後藤 隆司 地域共同研究センター 有田 敏彦 総 務 企 画 課 藤田美代子 技 術 部 大内 均 " 中西喜美雄

	地域共同研究センター兼任教員	機器分析センター兼任教員	未利用エネルギー研究センター兼任教員	情報処理センター兼任教員	サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー兼任教員
任 期	16.4.1～18.3.31	16.4.1～18.3.31	16.4.1～18.3.31	16.4.1～18.3.31	16.4.1～17.3.31
	機械システム工学科 二保 正美 " 佐々木正史 電気電子工学科 菅原 宣義 情報システム工学科 藤原 祥隆 化学システム工学科 堀内 淳一 機能材料工学科 増田 弦 " 宇都 正幸 土木開発工学科 高橋 修平 " 佐渡 公明 共 通 講 座 金倉 忠之	機械システム工学科 富士 明良 電気電子工学科 野矢 厚 情報システム工学科 原田 康浩 化学システム工学科 三浦 宏一 機能材料工学科 増田 弦 土木開発工学科 前田 寛之 共 通 講 座 谷口 孝男	化学システム工学科 多田 旭男 " 鈴木 勉 機能材料工学科 高橋 信夫 土木開発工学科 前田 寛之 機器分析センター 南 尚嗣	機械システム工学科 松村 昌典 " 菅原 幸夫 電気電子工学科 平山 浩一 " 柏 達也 情報システム工学科 後藤文太郎 " 中垣 淳 化学システム工学科 岡崎 文保 機能材料工学科 宇都 正幸 土木開発工学科 早川 博 " 三上 修一	機械システム工学科 羽二生博之 情報システム工学科 亀丸 俊一 土木開発工学科 鈴木 輝之 " 川村 彰 国際交流センター 山岸 喬

	クラス担任（1年）	クラス担任（2年）	クラス担任（3年）	クラス担任（4年）	就 職 担 当 教 員
任 期	16.4.1～17.3.31	16.4.1～17.3.31	16.4.1～17.3.31	16.4.1～17.3.31	16.4.1～17.3.31
	機械システム工学科 小林 道明 " 柴野 純一 電気電子工学科 村田 年昭 " 柏 達也 情報システム工学科 中垣 淳 " 今井 正人 化学システム工学科 鈴木 勉 " 岡崎 文保 機能材料工学科 伊藤 英信 土木開発工学科 亀山 貴雄 " 山下 聡	機械システム工学科 二保 正美 " 菅原 幸夫 電気電子工学科 植田 孝夫 " 野矢 厚 情報システム工学科 山田 浩嗣 " 原田 康浩 化学システム工学科 山田 哲夫 " 高橋 行雄 機能材料工学科 宇都 正幸 土木開発工学科 澤田 正剛 " 櫻井 宏	機械システム工学科 尾崎 義治 " 羽二生博之 電気電子工学科 菅原 宣義 " 熊耳 浩 情報システム工学科 榮坂 俊雄 " 鈴木 範男 化学システム工学科 三浦 宏一 " 星 雅之 機能材料工学科 渡邊 眞次 土木開発工学科 伊藤 陽司 " 高橋 清	機械システム工学科 尾崎 義治 " 富士 明良 電気電子工学科 吉田 公策 " 細矢 良雄 情報システム工学科 神谷 祐二 化学システム工学科 吉田 孝 機能材料工学科 松田 剛 土木開発工学科 前田 寛之 " 三上 修一	機械システム工学科 学 部 富士 明良 " 松村 昌典 大 学 院 富士 明良 " 松村 昌典 電気電子工学科 学 部 吉田 公策 " 細矢 良雄 大 学 院 吉田 公策 " 細矢 良雄 情報システム工学科 学 部 鈴木 茂人 大 学 院 鈴木 茂人 化学システム工学科 学 部 吉田 孝 大 学 院 吉田 孝 機能材料工学科 学 部 松田 剛 大 学 院 松田 剛 土木開発工学科 学 部 前田 寛之 " 三上 修一 " 早川 博 大 学 院 前田 寛之 " 三上 修一 " 早川 博

= 受賞 =

坂本弘志教授「北海道経済産業局長賞」を受賞

(機械システム工学科)

機械システム工学科坂本弘志教授は、本年4月23日(金)に札幌で開催された、第16回寒地環境工学合同シンポジウムにおいて発表した、「省電力型高性能機械換気システムの研究開発とその実用化」の論文で、北海道経済産業局長賞を受賞した。坂本教授は、昨年も「新型高性能飛翔型防雪柵の研究開発とその実用化」の発表論文で、同賞を受賞しており、2度目の受賞となった。受賞の対象となった本発表論文は、住宅室内の快適な空気環境を創生するための換気システムの研究開発である。研究開発された機械換気システムは、これまでのものに比べて、消費電力が1/5～1/8となる極めて省電力型のものである。その実現は、換気システムを構成する各種換気要素部材の低圧損化を、数値シミュレーション解析並びに性能評価実験によって図り、達成した。同賞は、道内の大学の研究開発シーズを道内企業によって、実用化・製品化されることを前提とするものである。研究開発さ

れた機械換気システムは、道内の企業によって実用化・製品化され、全国規模で住宅に設置・施工されつつあることが、高く評価され、受賞の対象となった。また、現在住宅の建材・施工材から放出される揮発性有機化合物(通称VOC)による、「シックハウス」が大きな社会問題となっており、その対策として国土交通省は、平成15年7月1日から「シックハウス新法」を施行し、住宅に機械換気システムの設置を義務付けた。坂本教授の研究開発は、快適な室内空気環境を創生し、シックハウスを防止する上で重要な役割を担うものであり、極めてタイムリーなものである。なお坂本教授は、室内空気環境が極めて劣悪とされているマンション等を対象とした小型で、かつ高性能の省電力型機械換気システムの研究開発に着手しており、その実現が住宅のビルダー並びにユーザーから、大いに期待されているところである。

= 諸報 =

札幌、東京にサテライト・オフィスを設置

(研究協力課)

本年4月から札幌・東京に相次いでサテライト・オフィスが設置されました。

札幌サテライトの正式名称は「R & B 札幌大通サテライト」と言い、大通公園に面した立地条件に大変恵まれた場所に位置しています。

参加機関は、本学その他、北大、室蘭工大、道、北海道経済産業局、北海道経済連合会等13団体が協議会を構成し参加しています。

東京サテライトの正式名称は「コラボ産学官プラザin TOKYO」と言い、東京都江戸川区船堀の旧江戸川信用金庫跡に設置されました。



R&B 札幌大通サテライト

参加機関は、本学の他、室蘭工大、福井大学、大分大学等全国10国立大学が参加し、電気通信大学のTLO「キャンパスクリエイト」が組織のサポート体制をとっています。

両サテライト・オフィスとも、地域の産学官連携の推進拠点の機能だけでなく、入試・広報活動、学生の就職活動、同窓会活動など幅広い活動に使うことが可能なため、教職員のみならず多くの皆さんに利用されることが期待されます。

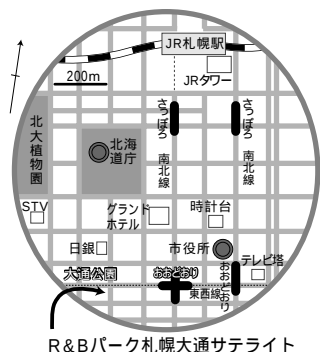


コラボ産学官 in TOKYO

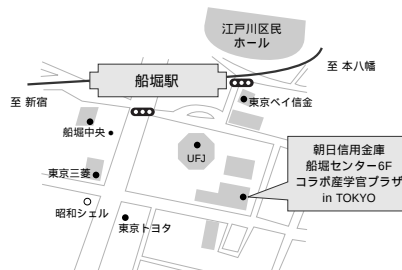
【各サテライトの所在地】

R&B札幌の住所：札幌市中央区大通西5丁目 昭和ビル1階（地下鉄大通駅出口1番直結）
電話：011-219-3359

コラボ産学官の住所：東京都江戸川区船堀3-5-24,朝日信用金庫船堀センター6階
電話：03-5696-9419



R&Bパーク札幌大通サテライト



○各サテライトの詳細は以下のホームページを参照してください。

R&B札幌のURL：<http://www.13.ocn.ne.jp/hint/>

コラボ産学官のURL：<http://www.collabosgk.com>

JA B E Eから認定 “土木開発工学科教育プログラム”

この度、日本技術者教育認定機構(以下「JABEE」と称する)から2003年度に申請していた本学土木開発工学科の教育プログラムが日本技術者教育認定制度に基づくものであると認定されました。

日本技術者教育認定制度とは、大学など高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが社会の要求水準を満たしているかどうかを外部機関が公平に評価し要求水準を満たしている教育プログラムを認定する専門認定制度(Professional Accreditation)です。

これにより、2004年3月に卒業した本学土木開発工学科の学生は、認定プログラムを修了した者として認められ技術士となるために必要な修得技術者(技術士補)の資格も得られることとなりました。このJABEE



からの土木系教育プログラムの認定は、道内の大学・高専を含め北大に次いで2大学目となり、

今後は本学の他学科も認定に向けて申請を計画
中であります。

父母懇談会(春季)を開催

(教 務 課)

父母懇談会(春季)を5月16日(日)北海道大学学術交流会館を会場として、道央・道南地域に在住の学部2・3・4年次及び大学院博士前期課程2年次学生の父母を対象として実施しました。

当日は、128組175人の父母が参加し、常本学長の挨拶をはじめ高橋副学長の全体説明に続いて、各学科、専攻に分かれて個別面談が行われました。



全体説明会において挨拶する常本学長

個別面談では、各学科の教員が対応し、修学状況、就職問題等について質問が出され、熱心なやりとりが交わされました。

また、個別面談までの待ち時間には常本学長、高橋副学長による父母との質疑等の時間が設けられ、父母からは大学院進学の必要性や経済支援状況及び就職に向けての諸問題など多くの質問等が出され、活発な意見交換が行われました。



全体説明会の様子

小林正義 元教授に名誉教授称号授与

(総務企画課)

4月1日開催の教育研究評議会において、本学元教授の小林正義氏に対して、4月1日付けで本学名誉教授の称号を授与することが決定されたことにより、5月12日(水)本学学長室において授与式が行われ、常本学長から名誉教授の称号が授与されました。



外国人研究者の受入れ

(研究協力課)

氏 名 国籍・年齢	受 入 学 科 職名・氏名	研 究 題 目	受入期間
(Wang Hongwei) 王 宏 偉 中華人民共和国・41才	化学システム工学科 教授・吉田 孝	木タールを中心とするゼロミッ ション型産業の創生～新しい炭素織 維の合成研究～	16.4.1～ 17.3.31
(Huricha Baigude) フリチャ バイグーデ 中華人民共和国・35才	化学システム工学科 教授・吉田 孝	木タールを中心とするゼロミッ ション型産業の創生～バイオマス炭 素材料の開発～	16.4.1～ 17.3.31

= 規程 =

制定規程等一覧（平成16年4月1日付け）

制定内容については、本学規則集、ホームページ等に順次掲載されますので、参照願います。

整理 No.	規 程 等 名	制定番号
1	北見工業大学学則	北工大達第 1号
2	北見工業大学大学院規程	北工大達第 2号
3	国立大学法人北見工業大学役員会規程	北工大達第 3号
4	国立大学法人北見工業大学経営協議会規程	北工大達第 4号
5	国立大学法人北見工業大学教育研究評議会規程	北工大達第 5号
6	国立大学法人北見工業大学企画運営会議規程	北工大達第 6号
7	国立大学法人北見工業大学職員就業規則	北工大達第 7号
8	国立大学法人北見工業大学教員人事規程	北工大達第 8号
9	国立大学法人北見工業大学教員選考規程	北工大達第 9号
10	国立大学法人北見工業大学教員選考基準	北工大達第 10号
11	国立大学法人北見工業大学教員任期規程	北工大達第 11号
12	国立大学法人北見工業大学職員出向規程	北工大達第 12号
13	国立大学法人北見工業大学職員休職規程	北工大達第 13号
14	国立大学法人北見工業大学職員再雇用規程	北工大達第 14号
15	国立大学法人北見工業大学職員給与規程	北工大達第 15号
16	国立大学法人北見工業大学役員及び職員倫理規程	北工大達第 16号
17	国立大学法人北見工業大学職員の兼業に関する規程	北工大達第 17号
18	国立大学法人北見工業大学職員の労働時間、休憩、休日及び休暇等に関する規程	北工大達第 18号
19	国立大学法人北見工業大学職員の育児休業、介護休業等に関する規程	北工大達第 19号
20	国立大学法人北見工業大学職員研修規程	北工大達第 20号
21	国立大学法人北見工業大学職員の懲戒の取扱規程	北工大達第 21号

整理 No.	規 程 等 名	制定番号
22	国立大学法人北見工業大学職員退職手当規程	北工大達第 22号
23	国立大学法人北見工業大学非常勤職員就業規則	北工大達第 23号
24	北見工業大学教授会規程	北工大達第 24号
25	北見工業大学大学院研究科委員会規程	北工大達第 25号
26	国立大学法人北見工業大学大学評価委員会規程	北工大達第 26号
27	国立大学法人北見工業大学広報委員会規程	北工大達第 27号
28	北見工業大学地域連携推進委員会規程	北工大達第 28号
29	北見工業大学国際交流委員会規程	北工大達第 29号
30	北見工業大学情報システム運営委員会規程	北工大達第 30号
31	北見工業大学情報システム運営委員会情報処理センター電子計算機システム専門委員会要項	学 長 裁 定
32	北見工業大学情報システム運営委員会高速キャンパス情報ネットワークシステム専門委員会要項	学 長 裁 定
33	北見工業大学情報システム運営委員会情報システム管理専門委員会要項	学 長 裁 定
34	国立大学法人北見工業大学学術振興・国際交流基金規程	北工大達第 31号
35	国立大学法人北見工業大学職務発明規程	北工大達第 32号
36	国立大学法人北見工業大学安全衛生管理規程	北工大達第 33号
37	北見工業大学副学長選考規程	北工大達第 34号
38	北見工業大学副学長について(申合せ)	学 長 裁 定
39	北見工業大学学科長に関する規程	北工大達第 35号
40	北見工業大学講座主任に関する規程	北工大達第 36号
41	北見工業大学大学院専攻主任に関する規程	北工大達第 37号
42	北見工業大学地域共同研究センター長選考規程	北工大達第 38号
43	北見工業大学機器分析センター長選考規程	北工大達第 39号
44	北見工業大学情報処理センター長選考規程	北工大達第 40号
45	北見工業大学未利用エネルギー研究センター長選考規程	北工大達第 41号
46	北見工業大学サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー長選考規程	北工大達第 42号
47	北見工業大学保健管理センター所長選考規程	北工大達第 43号
48	北見工業大学国際交流センター長選考規程	北工大達第 44号
49	北見工業大学技術部長選考規程	北工大達第 45号
50	北見工業大学知的財産本部長選考規程	北工大達第 46号
51	北見工業大学地域共同研究センター規程	北工大達第 47号
52	北見工業大学地域共同研究センター利用規程	北工大達第 48号
53	北見工業大学地域共同研究センター産学官連携推進員受入規程	北工大達第 49号
54	北見工業大学情報処理センター規程	北工大達第 50号
55	北見工業大学情報処理センター利用内規	北工大達第 51号
56	北見工業大学サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー規程	北工大達第 52号
57	北見工業大学サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー利用内規	北工大達第 53号

整理 No.	規 程 等 名	制定番号
58	北見工業大学地域連携・研究戦略室設置要項	北工大達第 54号
59	北見工業大学知的財産本部設置要項	北工大達第 55号
60	北見工業大学国際交流センター規程	北工大達第 56号
61	国立大学法人北見工業大会計規則	北工大達第 57号
62	国立大学法人北見工業大学安全衛生委員会規程	北工大達第 58号
63	北見工業大学教務委員会規程	北工大達第 59号
64	北見工業大学学生通則	北工大達第 60号
65	北見工業大学学生交流規程	北工大達第 61号
66	北見工業大学研究生規程	北工大達第 62号
67	北見工業大学科目等履修生規程	北工大達第 63号
68	北見工業大学外国人留学生規程	北工大達第 64号
69	北見工業大学教育課程履修規程	北工大達第 65号
70	追試験及び再試験内規	北工大達第 66号
71	北見工業大学第1年次入学者既修得単位認定取扱規程	北工大達第 67号
72	北見工業大学大学院教育課程履修規程	北工大達第 68号
73	北見工業大学大学院入学者既修得単位認定取扱規程	北工大達第 69号
74	北見工業大学ティーチング・アシスタント実施要項	北工大達第 70号
75	北見工業大学リサーチ・アシスタント実施要項	北工大達第 71号
76	北見工業大学学位規程	北工大達第 72号
77	北見工業大学学位論文審査取扱要領	北工大達第 73号
78	北見工業大学外国人留学生貸与基金要項	北工大達第 74号
79	北見工業大学保健管理センター規程	北工大達第 75号
80	北見工業大学学生委員会規程	北工大達第 76号
81	北見工業大学屈斜路研修所防火管理要項	北工大達第 77号
82	北見工業大学授業料免除及び徴収猶予に関する規程	北工大達第 78号
83	北見工業大学学生表彰規程	北工大達第 79号
84	北見工業大学奨学基金要項	北工大達第 80号
85	北見工業大学学生厚生基金貸付要項	北工大達第 81号
86	北見工業大学体育施設使用要項	北工大達第 82号
87	北見工業大学文化系サークル共用施設使用要項	北工大達第 83号
88	北見工業大学ヨット艇庫使用要項	北工大達第 84号
89	北見工業大学屈斜路研修所規程	北工大達第 85号
90	北見工業大学屈斜路研修所規程細則	北工大達第 86号
91	北見工業大学合宿研修施設使用規程	北工大達第 87号
92	北見工業大学合宿研修施設使用要項	北工大達第 88号
93	北見工業大学学生寮管理運営規程	北工大達第 89号

整理 No.	規 程 等 名	制定番号
94	北見工業大学大学会館規程	北工大達第 90号
95	北見工業大学大学会館使用細則	北工大達第 91号
96	北見工業大学学生よろず相談室規程	北工大達第 92号
97	北見工業大学入学者選抜委員会規程	北工大達第 93号
98	北見工業大学入学試験実施規程	北工大達第 94号
99	国立大学法人北見工業大学施設環境委員会規程	北工大達第 95号
100	国立大学法人北見工業大学施設環境委員会共用研究スペース運用審査専門委員会要項	学 長 裁 定
101	北見工業大学附属図書館規程	北工大達第 96号
102	北見工業大学附属図書館委員会規程	北工大達第 97号
103	北見工業大学附属図書館利用規程	北工大達第 98号
104	国立大学法人北見工業大学法人文書管理規程	北工大達第 99号
105	国立大学法人北見工業大学情報公開取扱要項	北工大達第 100号
106	国立大学法人北見工業大学公印規程	北工大達第 101号
107	北見工業大学客員教授及び客員助教授選考規程	北工大達第 102号
108	北見工業大学名誉教授称号授与規程	北工大達第 103号
109	北見工業大学国際交流会館規程	北工大達第 104号
110	北見工業大学国際交流会館使用内規	北工大達第 105号
111	北見工業大学受託研究員取扱規程	北工大達第 106号
112	国立大学法人北見工業大学理事の任命及び任期に関する規程	北工大達第 107号
113	北見工業大学外国人研究者受入規程	北工大達第 108号
114	北見工業大学外国人研究者受入規程の運用について	学 長 裁 定
115	北見工業大学守衛服務要領	北工大達第 109号
116	国立大学法人北見工業大学電気工作物保安規程	北工大達第 110号
117	北見工業大学教育研究施設の有効活用に関する規程	北工大達第 111号
118	北見工業大学総合研究実験棟共用実験室利用要領	北工大達第 112号
119	北見工業大学附属図書館文献複写及び現物貸借取扱要項	北工大達第 113号
120	国立大学法人北見工業大学セクシュアル・ハラスメントの防止等に関する規程	北工大達第 114号
121	国立大学法人北見工業大学セクシュアル・ハラスメント相談窓口及び相談員要項	北工大達第 115号
122	国立大学法人北見工業大学セクシュアル・ハラスメント調査委員会要項	北工大達第 116号
123	国立大学法人北見工業大学職員表彰規程	北工大達第 117号
124	国立大学法人北見工業大学旅費規程	北工大達第 118号
125	国立大学法人北見工業大学宿舍規程	北工大達第 121号
126	国立大学法人北見工業大学エックス線障害予防規程	北工大達第 122号
127	国立大学法人北見工業大学不動産管理規則	北工大達第 123号
128	国立大学法人北見工業大学防火管理規則	北工大達第 124号
129	国立大学法人北見工業大学役員給与規程	北工大達第 125号

整理 No.	規 程 等 名	制定番号
130	国立大学法人北見工業大学役員退職手当規程	北工大達第 126号
131	国立大学法人北見工業大学非常勤研究員取扱要項	北工大達第 127号
132	国立大学法人北見工業大学研究支援推進員取扱要項	北工大達第 128号
133	国立大学法人北見工業大学科学研究支援員取扱要項	北工大達第 129号
134	国立大学法人北見工業大学産学官連携研究員取扱要項	北工大達第 130号
135	国立大学法人北見工業大学予算決算及び出納事務取扱規程	北工大達第 133号
136	国立大学法人北見工業大学授業料等徴収規程	北工大達第 135号
137	国立大学法人北見工業大学奨学寄附金取扱規程	北工大達第 138号
138	国立大学法人北見工業大学旧姓使用取扱要項	北工大達第 139号
139	国立大学法人北見工業大学不動産管理規程	北工大達第 141号
140	国立大学法人北見工業大学契約事務取扱規程	北工大達第 143号
141	国立大学法人北見工業大学物品管理規則	北工大達第 149号
142	国立大学法人北見工業大学科学研究費補助金経理事務取扱要項	北工大達第 154号
143	国立大学法人北見工業大学受託研究取扱規程	北工大達第 155号
144	国立大学法人北見工業大学共同研究取扱規程	北工大達第 156号
145	国立大学法人北見工業大学工事契約事務取扱要領	北工大達第 158号
146	北見工業大学機器分析センター規程	北工大達第 162号
147	北見工業大学機器分析センター利用内規	北工大達第 163号
148	北見工業大学未利用エネルギー研究センター規程	北工大達第 164号
149	国立大学法人北見工業大学職員災害補償規程	北工大達第 165号
150	北見工業大学スペース・コラボレーション・システム事業利用要項	学 長 裁 定
151	北見工業大学事務組織規程	北工大達第 166号
152	北見工業大学事務組織細則	北工大達第 167号
153	国立大学法人北見工業大学文書処理規程	北工大達第 168号

= 日誌 =

(総務企画課)

4月1日	第1～3回役員会 第1回経営協議会 第1・2回教育研究評議会 第1回教授会 前期授業開始(2年次以上)	5月6日	平成16年度全国国立大学工学系学長 懇談会(盛岡)(～7日)
6日	平成16年度入学式 学生後援会定期総会	7日	国際交流委員会 教務委員会
7日	新入生ガイダンス	10日	企画運営会議
8日	前期授業開始(1年次)	12日	第4回教育研究評議会 名誉教授称号授与式 大学評価委員会
12日	企画運営会議	13日	第54回国立大学工学部長会議・総会 (仙台)(～14日)
14日	第3回教育研究評議会	16日	父母懇談会(札幌)
16日	就職担当教員会議	17日	企画運営会議 大学評価委員会
19日	第2回経営協議会 第4回役員会	18日	入学者選抜委員会 学生委員会
20日	入学者選抜委員会 大学評価委員会	19日	第1回大学院研究科委員会
21日	教務委員会 附属図書館委員会	20日	広報委員会
22日	学生委員会	26日	安全衛生委員会
28日	安全衛生委員会	30日	工業英語能力検定試験
30日	情報システム運営委員会	31日	企画運営会議

北見工業大学学報 第203号 平成16年5月発行

国立大学法人北見工業大学

事務局総務企画課

〒090-8507 北見市公園町165番地

TEL: (0157) 26 - 9116

FAX: (0157) 26 - 9122

E-mail:soumu05@desk.kitami-it.ac.jp

本報は、インターネットでもご覧いただけます。

<http://www.kitami-it.ac.jp/issue/gakho.htm>

この学報は再生紙を使用しています。